

## 当院で乳がん治療を受けておられる方へ

国立病院機構九州がんセンター乳腺科では現在、下記の調査研究に参加しております。

研究テーマ：ABCD データを用いたトリプルネガティブ乳癌の転移再発状況と臨床病理学的因子との関連

本研究は患者さんに提供する医療の質の向上を目的として、JBCRG 先行研究：進行・再発乳癌データベースプロジェクト研究の大規模データベースを用いて分析研究を実施することとなりました。

トリプルネガティブ乳癌と診断された患者さんの転移・再発乳癌の臨床病理学的因子と転移再発状況との関連を探索することで、患者さんの予後の違いや再発治療内容、術後経過観察時の留意点など国内における日常診療での新たな見解を得ることを目的とし、トリプルネガティブ乳癌の方の治療やフォローアップ方法を改善できる可能性があります。

日常診療から集積された既知の診療情報を二次的に利用するものであり、新たに患者さんに何らかの負担が生じることはありません。

本研究は承認～2025年3月31日まで行われます。本研究で利用させて頂く個人情報等は、個人が直接特定できない匿名化情報として加工し厳重に管理・保護し、プライバシーに係る個人情報が外部に漏洩することは一切ありません。また、本研究の成果に関しては、外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがありますが、集団を記述した数値データとし、個人が同定されるデータを公表することは一切ありません。

なお、本研究は本研究に対する研究費獲得の予定はなく、本研究に携わる当院研究者と企業の利益相反については、九州がんセンター倫理委員会に申告し承認されています。

### ●対象となる患者さん

- 1) 2000年1月1日から2021年1月31日までにABCDに登録され、スクリーニング時点で18歳以上の方。
- 2) 浸潤性トリプルネガティブ乳癌と組織学的に診断された転移・再発症例。
- 3) 重複癌は選定対象外であるが、5年以上寛解している場合を含む。

### ●研究に用いる試料・情報の種類

#### 【患者基本情報】

性別、生年月、転移・再発発見動機、転移・再発時自覚症状、転移症例タイプ、初回手術日、手術時の臨床病理学的因子、周術期の治療内容、再発部位、再発部位での生検の有無、再発腫瘍の臨床病理学的因子、併存疾患の情報など

#### 【治療歴・フォロー中の情報・予後情報】

治療の開始日・終了日・終了理由、治療内容（薬物治療、放射線治療、手術など）、薬物治療の主治医判断による最良治療効果、骨転移に対する治療有無・内容など、BRCA検査・がん遺伝子パネル検査・PDL-1・MSI等のバイオロジー検査の有無と結果、生存確認日、死亡日、死亡理由、他科連携の有無など

何かご不明な点がある方や、より詳しくお聞きになりたい方は、担当医までお問い合わせください。また本研究への協力を賛同されない場合、もしくは、本研究の対象の患者さんが亡くなられており、ご遺族など患者さんの代理人の方が本研究に賛同されない場合は、担当医までご連絡ください。これらの場合において、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くありません。

2025年1月

(お問合せ先) 国立病院機構九州がんセンター 乳腺科  
研究責任者 徳永 えり子

問い合わせ担当者 田尻 和歌子  
TEL:092-541-3231 FAX:092-551-4585  
〒811-1395 住所:福岡市南区野多目 3-1-1